


令和 8 年度交通運輸技術開発推進制度「マッチング推進型」研究テーマ概要④

研究テーマ名	航空機の更なるバリアフリー化に向けた機内設備の開発
社会課題／政策課題	<ul style="list-style-type: none"> ■ 交通運輸分野では、高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律（バリアフリー法）に基づき、公共交通事業者等が車両等を新たに整備・導入等する際に義務基準として遵守しなければならない内容を示した公共交通移動等円滑化基準が策定されている。 ■ 航空分野においては、同基準にて、双通路の航空機には車椅子使用者が円滑に利用することができる構造のトイレを設けなければならないことを定めるなど、機内のバリアフリー化に向けた制度面の対応を行っており、エアラインにおいても、同基準に適合した航空機の導入を進めている。 ■ 一方、利用者からは更なるバリアフリー化を望むニーズが出ているところ、こうしたニーズに応えるべく、装備品メーカーからバリアフリー設備の開発構想が出ているが、社会実装可能なレベルの技術が確立されていない。
研究テーマの詳細	<ul style="list-style-type: none"> ■ 現在、装備品メーカーにおいて、航空機の更なるバリアフリー化に向けた機内設備の研究開発を進めているところ。 ■ このような機内設備を実装するに当たっては、機体の安全性を確認するための試験等を行い、安全性に係る認証を取得する必要があるが、当該認証の取得に至っていない状況。 ■ このため、航空機メーカーとも連携の上、安全性に係る認証の取得を見据えたバリアフリー設備の研究開発を行うことにより、エアラインによる導入（社会実装）につなげ、航空分野の更なるバリアフリー化を図る。
研究テーマの詳細（図）	<div style="text-align: center;">  </div> <p style="text-align: center;">図 1 過去に海外エアラインが公表したコンセプト（実装には至っていない）（出典：デルタ航空 HP）</p>

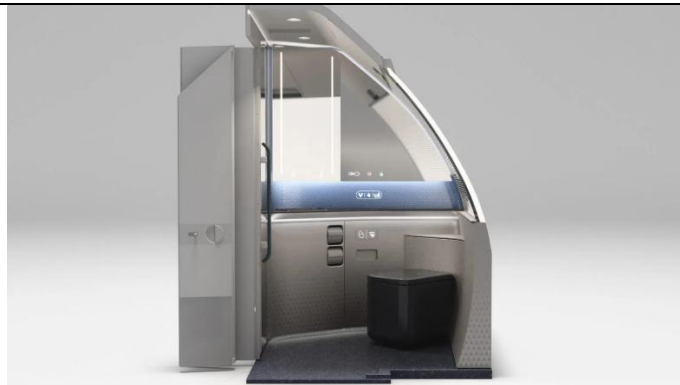


図2 過去に海外エアラインが公表したコンセプト
(実装には至っていない) (出典：デルタ航空 HP)

連絡先

(制度全般に関すること)
総合政策局技術政策課 TEL：03-5253-8111 (内線 25626) /
E-mail：hqt-giseika-koubou1★gxb.mlit.go.jp
(研究テーマに関すること)
航空局安全部航空機安全課
TEL：03-5253-8735 /
E-mail：hqt-airworthiness-tech★gxb.mlit.go.jp
※「★」を「@」に置き換えて送信ください。